

御料私領 一人數五拾三萬貳千九百六拾八人

高八拾三萬六千八百貳拾九石餘 近江國

内 貳拾七萬千貳百九拾八人

男 女 ○ 申 略

弘化三丙午年 諸國人數調

御料私領 一人數五拾四萬千七百三拾貳人

高八拾五萬三千九拾五石餘 近江國

内 貳拾七萬八千七百九拾八人

男 女

風俗

〔人國記〕近江國

近江國之風俗ハ賢佞之間ヲ兼タル風儀ナリ、雖然賢智之人ヲ聞ク事ナシ、佞人多カルベキナリ、身持上手ニ而人ニ非ヲ可被討事ヲ言葉ニ不顯而隱非而善ヲ説ク、然ル故ニ心ヲ不付而是ヲ見ルトキハ一段コノ國ノ人ハ總而キハダチ餘國ニスグレタリト見ユルナリ、是ヲタトヘテ以論ズルニカネニヲナジカネニハ金有、銀有、鐵有、錫有、鉛有、ミナカネニ而ミナ格別也、サレバコノ國風カネトイヘバ結構ノヤウナレドモ、金ニアラズ、銀ニアラズ、銅鐵鉛錫ノウチ也、是ヲ以是ヲ見レバ、コノ國ハ半佞國ト可知、佞人ハ必利根利發利口ニ而、言舌ハ賢人ニモ劣ルコトナシ、吾愚ニ而賢佞ヲシルベキヤウナシ、唯善惡言行ヲ案而可知也、口傳

〔松屋筆記 九十六〕近江ドロバウ伊勢コジキ

俗諺に、近江ドロバウ、伊勢コジキといへり、○中略關東にては盜人をドロバウといひ、放蕩者をドウラクモノといへり、京邊にては放蕩者をドロバウといひて、盜人の事にはいはず、近江ドロバウ伊勢コジキは、上方人のいひ出し語歟、坂東人のいひ出たる歟、出所によりて其意別なるべし、〔近江名所圖會ニ〕風土 湖邊の土は、灰汁なくして、水に泥なし、故に桑を養ふには清くして、又茶にもよく合へり、爰を以て、人性尤正直にして、音聲清濁をよく分てり、

〔山槐記〕元暦元年九月十五日辛丑、近江國注進風土記事

名所